

5 旭商圈（商業中心都市）

(1) 商圈の概要

表Ⅳ－５－１ 旭商圈

商圏 (基準吸引率)	旧・市町村区界					現・市町村区界				
	市町村			商圏人口 (人)	吸引人口 (人)	市町村		商圏人口 (人)	吸引人口 (人)	
		市町村 吸引率					市町村 吸引率			
第1次 (30%以上)	計	4	81.9%	70,292	57,601	計	1	83.5%	70,453	58,828
	旧・旭市		81.9%	40,403	33,090	旭市		83.5%	70,453	58,828
	旧・海上町		82.8%	11,128	9,214					
	旧・飯岡町		82.0%	10,855	8,901					
	旧・干潟町		80.9%	7,906	6,396					
第2次 (10～30%未満)	計	5	16.6%	142,614	23,633	計	3	16.5%	131,600	21,730
	銚子市		15.2%	73,864	11,227	銚子市		15.8%	73,864	11,671
	旧・八日市場市		14.4%	31,962	4,603	匝瑳市		14.8%	41,790	6,185
	旧・野栄町		15.9%	9,804	1,559	東庄町		24.3%	15,946	3,875
	旧・山田町		21.9%	11,038	2,417					
	東庄町		24.0%	15,946	3,827					
第3次 (5～10%未満)	計	0	-	-	-	計	1	5.7%	86,449	4,928
						香取市		5.7%	86,449	4,928
合 計		9	38.2%	212,906	81,234		5	29.6%	288,502	85,486

注1) 吸引率=吸引人口÷商圈人口×100

注2) 各商圈内の最上段吸引率は圈内加重平均(圈内吸引人口計÷圈内商圈人口計×100)

注3) 市町村・商圈人口は平成18年10月1日現在(千葉県毎月常住人口調査より)

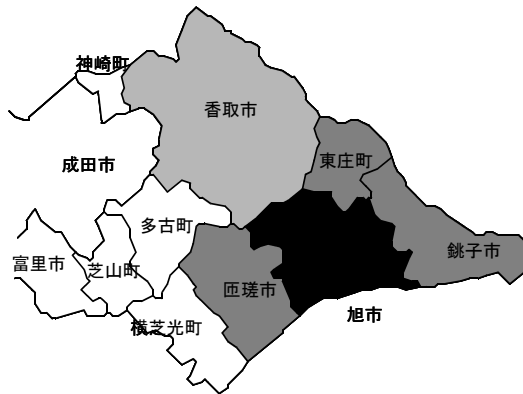
但し、旧市町村人口は平成18年10月末日現在(各市町村住民基本台帳字別人口表より)

○旭商圈は、海匝ブロックと香取ブロックの一部を取り込んだ4市1町から形成され、
商圈人口は約29万人（旭市人口の約4.1倍）、商圈からの吸引人口は約9万人（同
約121%）、商圈内吸引率は29.6%となっている。

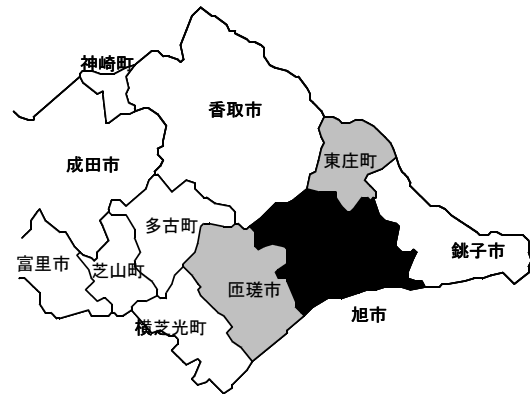
○第1次商圈は旭市1市で吸引率（地元購買率）は83.5%、第2次商圈は2市1町で
吸引率の平均は16.5%、第3次商圈は1市で吸引率は5.7%となっている。

図Ⅳ-5-1 旭商圈（衣料品・食料品・飲食・贈答品）

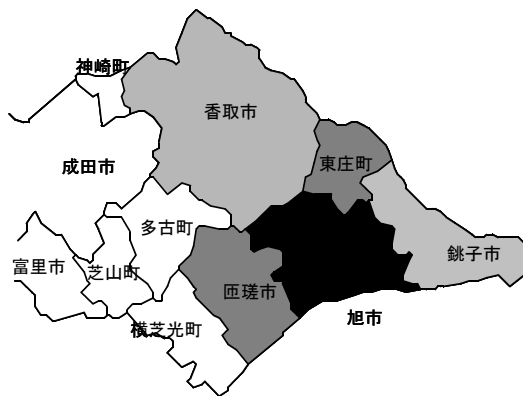
(衣料品)



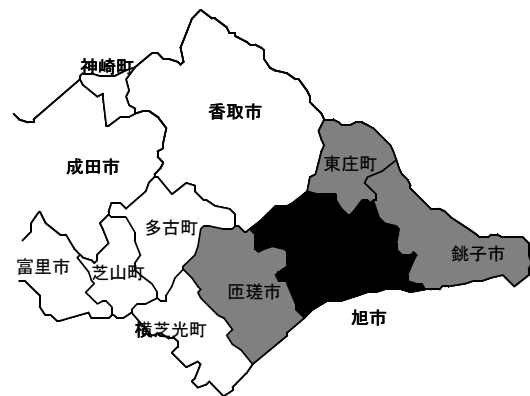
(食料品)



(飲食)



(贈答品)



(2) 旧市町村区界（旧・旭市）での前回調査との比較

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は、1市4町であったうち、1町が第2次商圏に移動したことから、1減して1市3町となった。
- ・第2次商圏は、2市2町であったが、第1次商圏から1町が入ったため、1増して2市3町となった。
- ・第3次商圏は1町であったが、その1町が圏外へ出たため、該当市町村はなくなった。
- ・商圏全体では、10市町（3市7町）であったものが、1減して9市町（3市6町）となった。

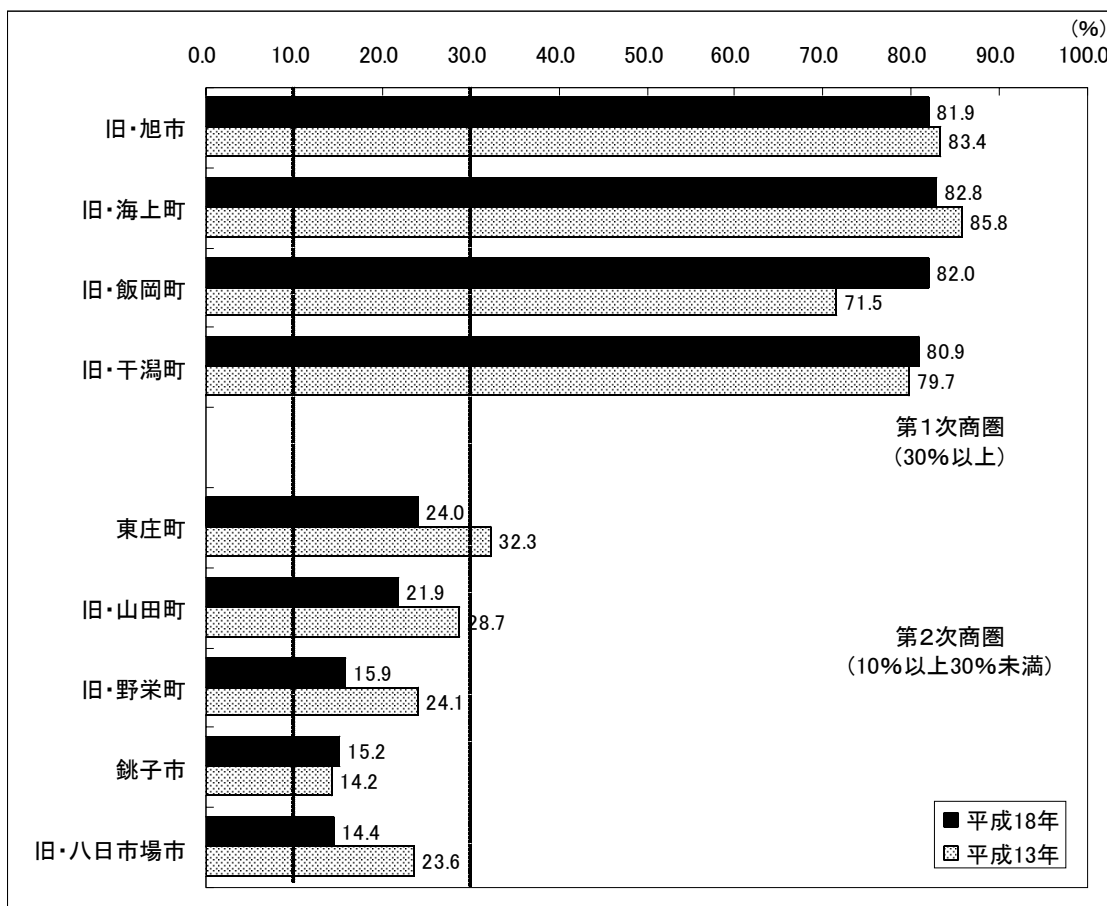
○商圏人口：前回調査時（232,485人）から減少して212,906人となった。（前回比▲8.4%）

○商圏内吸引率：前回調査時（38.2%）と同様、38.2%となっている。

○吸引人口：商圏人口が減少したことから、前回調査時（88,799人）から減少して81,234人となった。（前回比▲8.5%）

○吸引力：吸引人口が減少したことから、前回調査時（215.9%）から低下して201.1%となった。（前回比▲15ポイント）

図Ⅳ－５－２ 旧・旭市の吸引状況の変化（旧市町村区界）



(3) 市町村合併による市町村区界変化に伴う変化

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は、旧市町村区界では1市3町であるが、その全てが合併して1市となったことから、3減して1市となった。
- ・第2次商圏は、旧市町村区界では2市3町であるが、1市1町が合併により1市となり、また、1町は合併後（合併新市が）第3次商圏に入ったことから、2減して2市1町となった。
- ・第3次商圏に該当する市町村はなかったが、第2次商圏の1町が合併した新市が新たに入った。
- ・商圏全体では、旧市町村区界では9市町（3市6町）であるが、新市町村区界では4減して5市町（4市1町）となった。前回調査時の10市町（3市7町）との比較では5減となった。

↓

（現市町村区界での商圏の前回調査との比較）

○商圏人口：現市町村区界での商圏人口は前回調査時（232,485人）から増加して288,502人となった。（前回比＋24.1%）

○商圏内吸引率：前回（38.2%）から低下して29.6%となった。（前回比▲9ポイント）

○吸引人口：商圏人口は増えたものの吸引率が低下したことから、前回（88,799人）から減少して85,486人となった。（前回比▲3.7%）

○吸引力：吸引人口が減少し、且つ、自市人口が合併により大きく増加（＋71.3%）したことから、前回（215.9%）から大きく低下して121.3%となった。（前回比▲95ポイント）

(4) 衣料品購入における商圏内市町村の具体的な変化

○衣料品購入における旭商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－5－2に示す。

表Ⅳ－5－2 旭商圏の市町村の変化（衣料品）

商圏 (基準吸引率)	平成13年(旧・旭市)		平成18年(旧・市町村区界)			平成18年(現市区界)	
	市町村	平成18年 での変化	市町村	平成13年 からの 変化	市区界変化 による商圏 からの移動	市町村	平成13年 からの 変化
第1次 (30%以上)	計 5		計 4			計 1	
	旧・旭市		旧・旭市		○(旭市)	旭市	☆
	旧・海上町		旧・海上町		○(旭市)		
	旧・飯岡町		旧・飯岡町		○(旭市)		
	旧・干潟町		旧・干潟町		○(旭市)		
	※ 東庄町	第2次へ					
第2次 (10～30%未満)	計 4		計 5			計 3	
	銚子市		銚子市			銚子市	
	旧・八日市場市		旧・八日市場市		○(匝瑳市)	匝瑳市	☆
	旧・野栄町		旧・野栄町		○(匝瑳市)	※ 東庄町	第1次から
	旧・山田町		※ 旧・山田町		△(香取市)		
			※ 東庄町	第1次から			
第3次 (5～10%未満)	計 1		計 0			計 1	
	※ 旧・光町	圏外へ				香取市	☆
合 計	10		9			5	

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内 △印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

(5) その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における商圏内市町村の具体的な変化

○その他の品目の購入における旭商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－５－３に示す。

表Ⅳ－５－３ 旭商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)		平成13年(旧・旭市) 市町村		平成18年(現・市町村区界) 市町村	
		平成18年 での変化		平成13年 からの変化	
食料品	第1次 (30%以上)	計	3	計	1
		旧・旭市	○(旭市)	旭市	☆
		旧・海上町	○(旭市)		
		旧・千潟町	○(旭市)		
		計	3	計	0
飲食	第2次 (10～30%未満)	※ 旧・八日市場市	△(匝瑳市)		
		旧・飯岡町	○(旭市)		
		※ 旧・山田町	×(香取市)		
	第3次 (5～10%未満)	計	1	計	2
		旧・野栄町	○(匝瑳市)	匝瑳市	☆
贈答品	合 計		7	※ 東庄町	新規
				計	3
食料品	第1次 (30%以上)	計	4	計	1
		旧・旭市	○(旭市)	旭市	☆
		旧・海上町	○(旭市)		
		旧・飯岡町	○(旭市)		
		旧・千潟町	○(旭市)		
飲食	第2次 (10～30%未満)	計	4	計	2
		旧・八日市場市	○(匝瑳市)	匝瑳市	☆
		旧・野栄町	○(匝瑳市)	東庄町	
		※ 旧・山田町	△(香取市)		
		東庄町			
贈答品	第3次 (5～10%未満)	計	1	計	2
		銚子市		銚子市	
	合 計		9	※ 香取市	☆
				計	5
食料品	第1次 (30%以上)	計	5	計	1
		※ 旧・八日市場市	△(匝瑳市)	旭市	☆
		旧・旭市	○(旭市)		
		旧・海上町	○(旭市)		
		旧・飯岡町	○(旭市)		
飲食	第2次 (10～30%未満)	計	4	計	3
		銚子市		銚子市	
		旧・野栄町	○(匝瑳市)	匝瑳市	☆
		旧・山田町	×(香取市)	東庄町	
		東庄町			
贈答品	第3次 (5～10%未満)	計		計	0
	合 計		9	計	4

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内

△印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市